（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十七年十二月十日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万五千三百六十二號　A　（一）

夕刊 臺灣新報

十二月九日
臺灣日日新報社

日泰の結盟益々強固
大戰第二年協力誓ふ
東條首相、泰首相放送

【東京發同盟】日泰攻守同盟條約締結第一周年記念日を迎へるに當り、タイ國ピブン首相は八日午前九時（タイ國時間）ラヂオを通じ日本國民に對し左の如き放送を行つた

完勝の彼岸目差し
戰力強化運動展開
晏島 貯蓄、增産に重點指向

（東京發同盟）大東亞戰爭第二年目を開けるに當り、國民は擧國一致、戰力の增强に邁進すべく、昨日から戰爭第二年へ新しく第一歩を踏み出したが、これから十二日間は戰爭第二年に向つて「戰力强化運動」を展開すべき重大な期間であり、本年度に於ける國民總力の發揮に關する最後の決定もこの期間に行はれてゐるがこの意味に於ける國民總力の一大國民運動の一大飛躍に關し、大東亞戰爭完遂の一大飛躍に關し、大東亞戰爭完遂の一大飛躍に關し、大東亞戰爭完遂

臺灣日日新報　第一万五千三百六十二號　（一）
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十七年十月十日（土曜日）

第一次特別志願兵募集

大元帥陛下の股肱へ
日本男子最高の譽れ

杉山參謀總長と
長谷川總督談

精神的に敵既に破る
阿部總裁・米英の蒙を衝く

田二河を完全に占領
湖北の新四軍袋の鼠

蘭貢で慰靈祭執行

細萱海軍中將始め
文官に定期敍勳

佛艦二十隻は健在
貴族院調査會

英輸送巨船を
獨潛水艦擊沈

萬葉集
菅原傳授手習鑑

改造社發行
東京市芝區新橋七ノ二〇
振替東京八四二〇番

ぜんそくの苦しみを救へ！
漢方の粉末藥
ひろ（散）
氣管支喘息專門
喘息藥
眼服で効く！
全國藥店にあり

保健飲料
日東紅茶
東京市芝區新橋七ノ二〇
振替東京八四二〇番
三井物産株式會社
三井農林株式會社
三井元方

社說

適格者全志願
の實を擧げよ
第二次志願兵訓練所生徒募集

一

第二次國民志願兵訓練所生徒募集の告示は十八年一月十日に發せられた。その募集範圍に見ると志願者の資格は十八年一月十日に滿十七年以上二十五年以下の者であるが、本年は特に入所資格中に「年齢十七年以上にして陸軍特別志願兵令第一條の規定に該當せざる者」とある點は特に留意さるべきであらう、即ちその者は國民の義務に服さんとする志願者であるも、未だ徴兵適齢に達しない者であつて入營の時期に關しては陸軍の義務に服する者との關係上、志願者の數に制限を加へざるを得ないのである。

二

昨年十月本島に始めて實施された陸軍特別志願兵制度が發表されるや、本島青年層の志願熱は俄かに昂まり、志願者數は四十二萬餘といふ豫想外の數に達したのであつた。依つて當時は總督の命令を以て第一回の志願者を制限したやうな次第であつたやに聞く、勿論この數字は決して志願者の全數ではなく、その中には不適格者も多數含まれてゐたであらうが、とにかく本島青年層の志願熱が如何に昂揚されたかを如實に物語るものであつた。

今回の第二次志願兵の募集は、前回の經驗に鑑み、志願者數を豫め制限することなく、廣く志願者を募集することとなつたが、本島青年層の志願熱は前回に劣らず熾烈なものがあるであらうことは想像に難くない。

三

言ふまでもなく國民たることは本人に至上の國目たるのみならず、その家族親屬にとつても國家である。今度その第二回の志願兵に見事合格せる光榮青年諸君は、お母さまを始め兄弟姉妹の方々は勿論、廣く一般國人としての至誠從容の精神を以て、この光榮ある入營の日に入るべく期待されてゐる。而して特にお母さまの方々は、入營の日までに、この光榮ある國民の義務を果し得る國民たるに恥ぢざる心構へを以て、この日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

六

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

七

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

八

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

九

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十一

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十二

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十三

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十四

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十五

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十六

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十七

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十八

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

十九

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十一

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十二

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十三

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十四

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十五

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十六

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十七

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十八

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

二十九

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十一

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十二

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十三

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十四

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十五

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十六

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十七

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十八

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

三十九

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十一

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十二

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十三

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十四

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十五

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十六

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十七

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十八

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四十九

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十一

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十二

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十三

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十四

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十五

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十六

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十七

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十八

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

五十九

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

六十

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

適格者全志願の實を擧げよ

第二次志願兵訓練所生徒募集

一

第二次國民志願兵訓練所生徒募集の告示は十八年一月十日に發せられた。その募集範圍に見ると志願者の資格は十八年一月十日に滿十七年以上二十五年以下の者であるが、本年は特に入所資格中に「年齢十七年以上にして陸軍特別志願兵令第一條の規定に該當せざる者」とある點は特に留意さるべきであらう、即ちその者は國民の義務に服さんとする志願者であるも、未だ徴兵適齢に達しない者であつて入營の時期に關しては陸軍の義務に服する者との關係上、志願者の數に制限を加へざるを得ないのである。

二

昨年十月本島に始めて實施された陸軍特別志願兵制度が發表されるや、本島青年層の志願熱は俄かに昂まり、志願者數は四十二萬餘といふ豫想外の數に達したのであつた。依つて當時は總督の命令を以て第一回の志願者を制限したやうな次第であつたやに聞く、勿論この數字は決して志願者の全數ではなく、その中には不適格者も多數含まれてゐたであらうが、とにかく本島青年層の志願熱が如何に昂揚されたかを如實に物語るものであつた。

今回の第二次志願兵の募集は、前回の經驗に鑑み、志願者數を豫め制限することなく、廣く志願者を募集することとなつたが、本島青年層の志願熱は前回に劣らず熾烈なものがあるであらうことは想像に難くない。

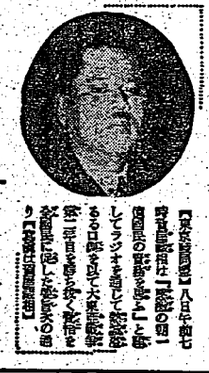
三

言ふまでもなく國民たることは本人に至上の國目たるのみならず、その家族親屬にとつても國家である。今度その第二回の志願兵に見事合格せる光榮青年諸君は、お母さまを始め兄弟姉妹の方々は勿論、廣く一般國人としての至誠從容の精神を以て、この光榮ある入營の日に入るべく期待されてゐる。而して特にお母さまの方々は、入營の日までに、この光榮ある國民の義務を果し得る國民たるに恥ぢざる心構へを以て、この日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

四

志願兵制度が施かれたのは、決して單に戰時下に於ける兵力の增强にあるのでなく、眞に皇國臣民たるの資質を具へた者に對してのみ、その門戸を開かんとするものであつて、單に兵役の義務を果すといふ點からのみ見ても、この制度が施かれたのは、實に國民生活の上に一大轉機を與へるものである。從つて志願者は、この點を深く考へ、この制度の趣旨を體して、この光榮ある入營の日を迎へるやう、あらゆる努力を拂はなければならない。

勤勞節約の貯蓄は米英を擊滅の彈丸



藏相 賀屋興宣 送放相

昨年十二月八日米英に對し宣戰の大詔渙發せらるるや、我が國民は一億擧國の總力を擧げて大東亞戰爭の完遂に邁進することの出來ない非常時であつた。爾來三年半、我が國民は擧國一致、勤勞報國の實を擧げて國家の存立に必要なる物資を增產し、これが確保に努めるとともに、國民生活の安定を期するため、消費の節約を强力に實行し、以つて戰時經濟の確立に萬全を期して來たのである。

しかるに、戰局の進展に伴ひ、米英の我が國に對する壓迫は愈々加重し、特に昨年末以來、米英は我が國の生産力の中樞たる船舶の擊沈に全力を傾注し、その數は實に驚くべきものがあり、これが我が國の戰力發揮に及ぼす影響は極めて重大なものがある。

今や我が國は、大東亞戰爭の歷史的轉換期に當面し、戰局は愈々重大化しつつあるのであるが、この時に當つて、我が國民は、擧國一體、勤勞報國の實を擧げ、米英擊滅の彈丸を一發でも多く增產するとともに、消費の節約を强力に實行し、以つて戰時經濟の確立に萬全を期することが、眞に國民に課せられた緊急の任務であると信ずる。

政府は、この任務を果すため、今回、戰時經濟の基本的方策として、次の諸點を決定した。

一、軍需力（インフレ防止等の經濟力を含む）の强化

二、現段階における國民生活の安定

三、勤勞力の適正なる配置

四、生産力擴充のための資源の開發

五、科學技術の振興

六、交通運輸の確保

七、生産力擴充のための金融の調整

八、物價の調整

政府は、この方策に基いて、あらゆる施策を講じ、戰時經濟の確立に萬全を期するとともに、國民生活の安定を圖り、以つて大東亞戰爭の完遂に邁進する覺悟である。

大東亞の軸心
臺灣航空界の將來

大東亞戰爭第二年目を迎へ、戰局は愈々重大化しつつあるが、我が國は擧國一致、勤勞報國の實を擧げ、米英擊滅の彈丸を一發でも多く增產するとともに、消費の節約を强力に實行し、以つて戰時經濟の確立に萬全を期して來たのである。

しかるに、戰局の進展に伴ひ、米英の我が國に對する壓迫は愈々加重し、特に昨年末以來、米英は我が國の生産力の中樞たる船舶の擊沈に全力を傾注し、その數は實に驚くべきものがあり、これが我が國の戰力發揮に及ぼす影響は極めて重大なものがある。

今や我が國は、大東亞戰爭の歷史的轉換期に當面し、戰局は愈々重大化しつつあるのであるが、この時に當つて、我が國民は、擧國一體、勤勞報國の實を擧げ、米英擊滅の彈丸を一發でも多く增產するとともに、消費の節約を强力に實行し、以つて戰時經濟の確立に萬全を期することが、眞に國民に課せられた緊急の任務であると信ずる。

政府は、この任務を果すため、今回、戰時經濟の基本的方策として、次の諸點を決定した。

一、軍需力（インフレ防止等の經濟力を含む）の强化

二、現段階における國民生活の安定

三、勤勞力の適正なる配置

四、生産力擴充のための資源の開發

五、科學技術の振興

六、交通運輸の確保

七、生産力擴充のための金融の調整

八、物價の調整

政府は、この方策に基いて、あらゆる施策を講じ、戰時經濟の確立に萬全を期するとともに、國民生活の安定を圖り、以つて大東亞戰爭の完遂に邁進する覺悟である。

南方圈開發と金融報國への途

水津總督府財務局長は近く上京のことゝなつたが大東亞戰爭と金融問題に關し、つぎの如く談つた

大東亞戰爭第二年目を迎へ、戰局が重大化しつゝあるが、我が國民は擧國一致、勤勞報國の實を擧げ、米英擊滅の彈丸を一發でも多く增產するとともに、消費の節約を强力に實行し、以つて戰時經濟の確立に萬全を期して來たのである。

しかるに、戰局の進展に伴ひ、米英の我が國に對する壓迫は愈々加重し、特に昨年末以來、米英は我が國の生産力の中樞たる船舶の擊沈に全力を傾注し、その數は實に驚くべきものがあり、これが我が國の戰力發揮に及ぼす影響は極めて重大なものがある。

今や我が國は、大東亞戰爭の歷史的轉換期に當面し、戰局は愈々重大化しつゝあるのであるが、この時に當つて、我が國民は、擧國一體

いざ行かん志願兵へ

島民至高至大の榮譽

畏し。一視同仁の御聖慮

皇軍に恥ない覺悟で

山内情報委員部次長談

科學研究戰士を顯彰

けふ盛大に顯彰式擧行

強健な身體を作れ

山田、玉川、東條三教官談

臺灣に國語選士競演

臺北市にけふ華々しく開會

全島國語選士競演會

けふ臺北市に國語演習會

鐵石の信念で志願せよ

石川志願兵訓練所長談

防空必勝へ鐵壁の陣

全國民に實戦即應の防空準備要望

上田防空局長講演要旨

純正なる意氣もて

藤岡臺灣軍報道部長談

輕薄な感情は禁物

強固な決意で志願せよ

固い信念把握せよ

淺薄な名譽心に驅られるな

新志願兵は斯くあれ

（上）

制服の乙女ら"針"奉仕

飛ぶ様に賣れる債券

街頭債券賣出所賑しい悲鳴

科學研究戰士を顯彰

けふ盛大に擧行

強健な身體を作れ

山田、玉川、東條三教官談

臺灣關係受賞者

臺北市に國語選士競演

全島國語選士競演會

防空必勝へ鐵壁の陣

上田防空局長講演

純正なる意氣もて

輕薄な感情は禁物

固い信念把握せよ

新志願兵は斯くあれ

制服の乙女ら"針"奉仕

飛ぶ様に賣れる債券

大東亞戰感狀集

教育日本

教育研究會

今日の映畫演藝

會葬御禮

前田和美

大日本帝國海軍

大東亞戰感狀集

教育日本

教育研究會

今日の映畫演藝

會葬御禮

前田和美

新志願兵は斯くあれ

制服の乙女ら"針"奉仕

飛ぶ様に賣れる債券

科學研究戰士を顯彰

強健な身體を作れ

臺灣關係受賞者

臺北市に國語選士競演

全島國語選士競演會

防空必勝へ鐵壁の陣

上田防空局長講演

純正なる意氣もて

輕薄な感情は禁物

固い信念把握せよ

鐵石の信念で志願せよ

皇軍に恥ない覺悟で

山内情報委員部次長談

島民至高至大の榮譽

畏し。一視同仁の御聖慮

いざ行かん志願兵へ

七つの工場に飛機 "獻金"に示せ愛國の情熱"

三兒を祖國に捧げ忠誠一路

老江（大里）たり（ま）

【臺南電話】一億國民が醜敵撃滅に邁進してゐる、大東亞戰爭第二周年の劃期的な年を迎へた十二月八日、臺南州下の各地に於ても、それ〴〵感激の裡に大東亞戰爭第一周年の輝く偉業に對する感謝の一端として、大日本帝國陸軍航空本部に獻金を申出たのであつた、斯うして獻金の手續を終つた人々は、皆一樣に、この日にたゞ一回の獻金を終つたのではなく、今後も續けて獻金を續けて行くことを誓ひ合つてゐる、今その感激の模樣を各地について見よう

その一　さすが南支に、軍官民一體となつて、大東亞戰爭の完遂に邁進してゐる海南島の人々は、昨年十二月八日の第一周年記念日を、あの時の感激を新たにして、大江老は、

老江　まづ〳〵自分たちから下つた年金そのつくり獻金し、感激を表現した

大里　大東亞戰爭一周年の輝く偉業に對する感謝の一端です

と金七千八百四十七圓也を陸軍獻金に振込方の手續を依頼して來た後の感激も新しい獻金完了があつた……

●主任參事官（陸軍司政官）二ノ宮茂氏（大江老）で、大江老は

わたくし　が自ら申しまして何んの心配もなく終戰の喜びの日が來ることを信じ、あれば、こそだと

自分の家庭にあるこの工場に感激した、そして大江老の計に參加した、

老江　の獻金の一人くに振らず國防獻金を申出たのであつた、斯うして集つた金が五千八百四十七圓也を加へ昨十七日午後一時より總督府の會議室に於て、總督、總務、生活、警務、各局長、參與官、參事官、秘書官、各部長、會計課長、陸軍部長、海軍部長、臺灣軍參謀長、臺灣軍經理部長、臺灣軍報道部長、臺灣軍司政部長、臺灣軍獸醫部長、臺灣軍軍醫部長、臺灣軍法務部長、臺灣軍豫備士官學校長、臺灣軍航空廠長、臺灣軍航空通信隊長、臺灣軍航空教育隊長、臺灣軍航空整備隊長、臺灣軍航空修理廠長、臺灣軍航空補給廠長、臺灣軍航空氣象隊長、臺灣軍航空地區司令部長、臺灣軍航空地區本部長、臺灣軍航空地區本部副官、臺灣軍航空地區本部經理部長、臺灣軍航空地區本部整備部長、臺灣軍航空地區本部通信部長、臺灣軍航空地區本部教育部長、臺灣軍航空地區本部氣象部長、臺灣軍航空地區本部補給部長、臺灣軍航空地區本部修理部長、臺灣軍航空地區本部醫務部長、臺灣軍航空地區本部法務部長、臺灣軍航空地區本部豫備士官學校長、臺灣軍航空地區本部豫備士官學校副官、臺灣軍航空地區本部豫備士官學校經理部長、臺灣軍航空地區本部豫備士官學校教育部長、臺灣軍航空地區本部豫備士官學校整備部長、臺灣軍航空地區本部豫備士官學校醫務部長、臺灣軍航空地區本部豫備士官學校法務部